

● 土壌の採取方法一覧

分析項目	用途	採取時期	採取場所	採取深度	採取量の目安
化学性分析	施肥設計	前作栽培終了後 作付1ヶ月以上前	畑の4角と対角線で結んだ交点 の5か所	15～20cmまで	
	生育不良の要因	生育期	生育不良株の周辺から数か所 対照土壌として正常株周辺		
線虫	線虫密度 被害発生リスク	生育期 前作栽培終了直後 作付1ヶ月以上前	最も被害が発生していた株周辺	10～20cmから	200g以上 又は袋の半分
ピシウム菌	菌密度 被害発生リスク			10～15cmまで	
フザリウム菌		生育期 前作栽培終了から1ヶ月後 作付1ヶ月以上前	15～20cmまで		
青枯病菌 立枯病菌(タバコ)	菌核数 被害発生リスク	生育期 前作栽培終了直後 作付1ヶ月以上前	最も被害が発生していた株周辺 下層の菌の影響がある場合は 上層、中層、下層に分ける	15～20cmまで 0-30cm 30-60cm 60-90cm	各層 200g以上 又は袋の半分
アブラナ科根こぶ病					
ネギ類黒腐菌核病	菌核数 被害発生リスク	生育期 前作栽培終了直後 作付1ヶ月以上前	最も被害が発生していた株周辺	10～15cmまで	300g以上 又は袋の半分
ショウガ根茎腐敗病	捕捉率 被害発生リスク			1～3kg 又は採取袋 1～3袋分	
キャベツ パーティシリウム萎凋病 (群馬県の土壌のみ)	菌量 被害発生リスク	生育期 前作栽培終了直後 作付1ヶ月以上前	排水性悪い、生育悪い場所 化学性と同じ5点法	10～20cmから	200g以上 又は袋の半分
線虫被害未発生 又は不明	線虫密度 被害発生リスク			300g以上 又は袋の半分	
病害未発生又は不明	菌密度、菌核数、 捕捉率、菌量 被害発生リスク	前作栽培終了直後 (フザリウム菌は1か月後) 作付1ヶ月以上前	排水性悪い、生育悪い場所 化学性と同じ5点法	各項目に適した 深度まで	200g～3kg

● 複数項目を分析依頼する場合の土壌の採取量目安

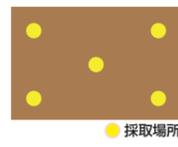
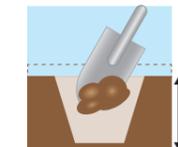
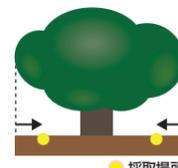
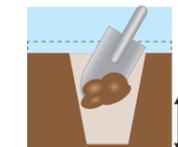
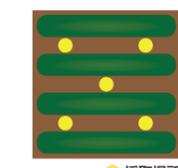
化学性 (微量要素等含む)	線虫	ピシウム菌 フザリウム菌 青枯(立枯)病菌	根茎腐敗病	黒腐菌核病	根こぶ病	キャベツ パーティシリウム 萎凋病	最低必要量
●	●						500g
●		●					300g
●			●				1～3kg
●	●	●	●				1.5～3kg
●				●			400g
●					●		400g
●						●	400g
●	●	●					300g
●	●		●				1～3kg
●	●			●			500g
●	●				●		300g
●	●				●	●	300g
●		●	●				1～3kg
●					●	●	300g

アグロカネショウの 土壌分析



化学性分析

土壌の採取方法

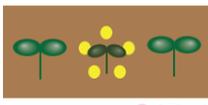
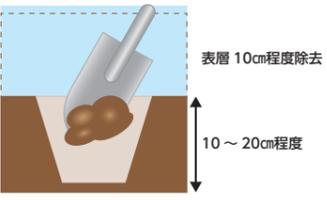
分析目的	採取方法		採取深度	
	水田・畑土	圃場の4角と対角線で結んだ交点の5か所から移植ごてなどでバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。 注意点(畑土): 残肥が入らないようにする。植物残渣等はなるべく除去する。		表土を1～2cm除去し、深さ10～20cmまで採取する。 
施肥設計	樹園地	平均的な生育の樹を1本選び、樹冠の端から30cm内側の2か所から採取し、バケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。 注意点: 果樹の種類や年数により根域が異なるため、根が多く分布する所から採取する。		根が多く分布する深さ20～40cm位から採取する。 
	茶園	畝間5か所位からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。		堆積した未分解の枝葉を除去し、深さ10～20cmから採取する。 
【採取時期】 前作栽培終了後または、作付1ヶ月以上前				
【採取量】 200g または袋の半分				
生育不良の要因確認	<ul style="list-style-type: none"> 生育が悪い株周辺から数か所。移植ごてなどでバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる 対照土壌として正常株周辺から数か所。移植ごてなどでバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる 【採取時期】 生育期のみ 【採取量】 200g または袋の半分 注意点: 対照の正常株周辺土壌を採取する際は、根を傷つけないようにする。			

土壌分析に関する詳細やお申し込みは
弊社HPからご確認いただけます➡

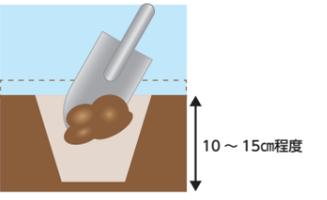


土壌の 送付先

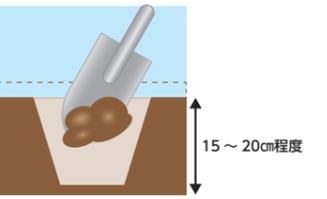
〒307-0001 茨城県結城市結城 9511-4
アグロカネショウ株式会社 結城事業所 土壌分析室宛
TEL.0296-21-3108 FAX.0296-21-3109

発生有無	採取方法	採取深度
被害発生	<p>最も激しく被害が発生していた箇所およびその周辺数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。</p>  <p>【採取時期】生育期、前作栽培終了直後または、作付1ヶ月以上前</p> <p>【採取量】300g または袋の半分</p>	<p>表層を10cm程度除去し、深度10から20cmから採取する。</p> 
不明または未発生	<p>生育が悪い場所など気になる場所、数か所から、なげれば、畑に4角と対角線で結んだ交点の5か所から採取。バケツ等の容器に採取し良く混ぜる。</p> <p>【採取時期】前作栽培終了直後または、作付1ヶ月以上前</p> <p>【採取量】300g または袋の半分</p>	

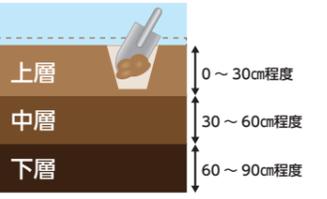
注意点：採取した土壌は乾燥しないようにして、2～3日以内に送付してください。保管は、冷蔵か日陰の涼しい場所で行ってください。

発生有無	採取方法	採取深度
被害発生	<p>最も激しく被害が発生していた箇所およびその周辺数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。</p> <p>【採取時期】生育期、前作栽培終了直後または、作付1ヶ月以上前</p> <p>【採取量】200g または袋の半分</p>	<p>表土を軽く除去し、深さ10～15cmまで採取する。</p> 
不明または未発生	<p>生育が悪い場所、排水性が悪い場所など気になる場所、数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。</p> <p>【採取時期】生育期、前作栽培終了直後または、作付1ヶ月以上前</p> <p>【採取量】200g または袋の半分</p>	

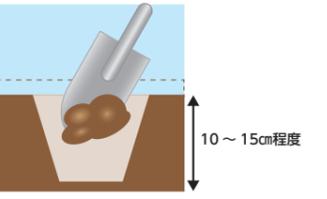
注意点：病原性と非病原性の菌があります。同定はできません。雑草や緑肥などを鋤き込んだ直後は、雑多な菌が検出される可能性がありますので、避けてください。

発生有無	採取方法	採取深度
被害発生	<p>最も激しく被害が発生していた箇所およびその周辺数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。</p> <p>【採取時期】生育期、前作栽培終了から1ヶ月後または、作付1ヶ月以上前</p> <p>【採取量】200g または袋の半分</p>	<p>表土を軽く除去し、深さ15～20cmまで採取する。</p> 
不明または未発生 (連作の場合)	<p>生育が悪い場所、排水性が悪い場所など気になる場所、数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。</p> <p>【採取時期】前作栽培終了から1ヶ月後または、作付1ヶ月以上前</p> <p>【採取量】200g または袋の半分</p>	

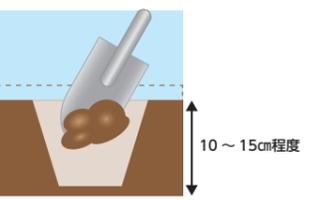
注意点：病原性と非病原性の菌があります。同定はできません。栽培終了直後、雑草や緑肥などを鋤き込んだ直後は、雑多な菌が検出される可能性がありますので、避けてください。宿主特異性がある菌のため、連作圃場以外は、病害発生の可能性を調べることはできません。

発生有無	採取方法	採取深度
被害発生	<p>最も激しく被害が発生していた箇所およびその周辺数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。</p> <p>【採取時期】生育期、前作栽培終了直後または、作付1ヶ月以上前</p> <p>【採取量】各層200g または袋の半分</p>	<p>表土を軽く除去し、深さ15～20cmまで採取する。 トマトやナスなど根が深くまで伸長する作物の場合は、下層の菌が影響する可能性があるため、上層、中層、下層(0-30cm、30-60cm、60-90cm)に分けて採取する。</p> 
不明または未発生	<p>生育が悪い場所、排水性が悪い場所など気になる場所、数か所から採取。バケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。</p> <p>【採取時期】前作栽培終了直後または、作付1ヶ月以上前</p> <p>【採取量】各層200g または袋の半分</p>	

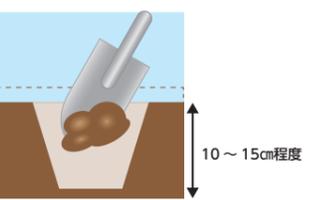
注意点：採取した土壌は乾燥しないようにしてください。4℃以下で死滅するので、冷蔵便で送付しないでください。圃場環境条件で、生きていても人口培養できない状態(VBNC)になることがあるため、被害が発生していても検出されないことがあります。

発生有無	採取方法	採取深度
被害発生	<p>最も激しく被害が発生していた箇所およびその周辺数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。</p> <p>【採取時期】生育期、前作栽培終了直後または、作付1ヶ月以上前</p> <p>【採取量】300g または袋の半分</p>	<p>表土を軽く除去し、深さ10～15cmまで採取する。</p> 
不明または未発生	<p>畑の4角と対角線で結んだ交点の5か所から移植などでバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。</p> <p>【採取時期】前作栽培終了直後または、作付1ヶ月以上前</p> <p>【採取量】300g または袋の半分</p>	

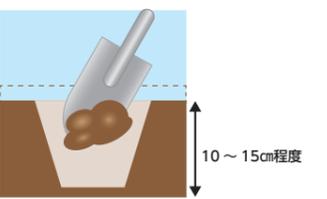
注意点：おとり作物や緑肥を栽培し、鋤き込んだ直後は、多く検出される可能性があるため、十分腐熟が進んでから採取してください。

発生有無	採取方法	採取深度
被害発生	<p>最も激しく被害が発生していた箇所およびその周辺数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。</p> <p>【採取時期】生育期、前作栽培終了直後または、作付1ヶ月以上前</p> <p>【採取量】300g または袋の半分</p>	<p>表土を軽く除去し、深さ10～15cmまで採取する。</p> 
不明または未発生	<p>生育が悪い場所、排水性が悪い場所など気になる場所、数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。</p> <p>【採取時期】前作栽培終了直後または、作付1ヶ月以上前</p> <p>【採取量】300g または袋の半分</p>	

注意点：病害が発生した場所以外から検出される可能性は低いため、病害が発生した場所から採取してください。

発生有無	採取方法	採取深度
被害発生	<p>最も激しく被害が発生していた箇所およびその周辺数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。</p> <p>【採取時期】生育期、前作栽培終了直後または、作付1ヶ月以上前</p> <p>【採取量】1～3kgまたは採取袋1～3袋分</p>	<p>表土を軽く除去し、深さ10～15cmまで採取する。</p> 
不明または未発生	<p>生育が悪い場所、排水性が悪い場所など気になる場所、数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。</p> <p>【採取時期】前作栽培終了直後または、作付1ヶ月以上前</p> <p>【採取量】1～3kgまたは採取袋1～3袋分</p>	

注意点：しばらく休耕していた場合は3kg以上採取してください。

発生有無	採取方法	採取深度
被害発生	<p>最も激しく被害が発生していた箇所およびその周辺数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。</p> <p>【採取時期】生育期、前作栽培終了直後または、作付1ヶ月以上前</p> <p>【採取量】300g または袋の半分</p>	<p>表土を軽く除去し、深さ10～15cmまで採取する。</p> 
不明または未発生	<p>生育が悪い場所、排水性が悪い場所など気になる場所、数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。</p> <p>【採取時期】前作栽培終了直後または、作付1ヶ月以上前</p> <p>【採取量】300g または袋の半分</p>	

注意点：残渣が入らないようにしてください。